

山本幸平さん監修「五輪選手輩出が夢」

【幕別】町は「明野ヶ丘公園」(町明野496他)内に、マウンテンバイクコースの整備を計画している。五輪に2大会連続出場した町出身の山本幸平さん(28)はSPPEICIALIZED国際アウトドア専門学校、帯広農業高IIが全面的に協力する。早ければ9月にも着手する予定で、山本さんは「全国的に練習や大会ができるコースが少ない。ここから五輪選手を輩出するのが夢」と話している。

マウンテンバイクコース整備へ



16日の現地調査で町担当者らに自身の構想を説明する山本さん(手前右)

山本さんは自転車マウンテンバイク男子クロスカン トリーで、北京五輪とロンドン五輪に出場。現在も国内外のレースに出場し続け、世界ランキング13位、日本選手権は6連覇中だ。山本さんは高校時代から同公園を練習場の一つとしており、現在も帰省した際はトレーニングを兼ねて公園を訪れる。

コース整備について山本さんは「地元での練習環境をさらに高めるとともに、子供を含む多くの人にマウンテンバイクの魅力を伝える場になる」とし、今月上旬に岡田和夫町長を訪れ、直談判した。

同公園は町管理の総合公園で、1983年に供用開始。面積は20・3畝。園路のほか、町の開基100年

幕別町「明野ヶ丘公園」

記念で建設した展望施設「ピラ・リ」やパークゴルフ場、アスレチック施設などがある。当初はモトクロスコースがあつて大会も開かれたが、現在は草が覆い茂り使用されていない。

山本さんは16日に町役場担当者らと現地調査し、園路や芝生、緑地部分を自転車で回りながら、土のこぶや階段などを作る自身のコース構想を説明。散策者の安全確保を優先しつつ、山本さんの監修で設計を進めていくことを確認した。

町は「工作物には規制がありすぐには難しいが、土を盛ったり、コース看板を設置したりするのは安全性を見ながら進めたい」(土木課)とする。早ければ9月中にも、山本さんのアドバイスを受けながら作業に入る。

18、20日の日本選手権で7連覇が期待される山本さんは「夢が一步進んだ。選手が集う場となり、レースが開けるようになればうれしいし、地域も活性化する。全面的に協力したい」と話している。(佐藤いづみ)